

## 第 6 期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

|   |                          |
|---|--------------------------|
| 協議テーマ   | 地域生活支援拠点等について            |
| 開催日等  | 第 5 回 令和 2 年 1 月 14 日（火） |
| 部会名・記録担当委員名   | 相談支援部会 山崎美喜              |
| <p><b>【協議概要】</b><br/> 自立生活支援課作成「小金井市における地域生活支援拠点等の整備に係る方針（案）」（別紙）」の検討。</p> <p><b>【課題となった事項の整理】</b></p> <p>●整備内容案</p> <p>1 地域における複数の機関が分担して機能を担う体制の「面的整備型」とし、小金井市障害者地域自立生活支援センターを中心として実施していく。</p> <p>2 （１）市内の指定特定相談支援事業所との定期的な連絡会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの小金井市の連絡会の持ち方を踏まえ、知的・身体と精神を分野別に定期的に開催。</li> <li>・参加事業者を指定特定相談支援事業所以外の相談支援機関にも広げることで、市はより地域の情報収集や課題の把握がしやすくなると考える。</li> <li>・目標を数値化したいが、「（２）緊急受け入れのコーディネート」以外は難しいのでは。今後検討していく。</li> <li>・長期入院精神障害者の地域移行は、この整備の設計に係るのではないか。</li> </ul> <p>（２）緊急時の受け入れのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の情報集約は小金井市障害者地域自立生活支援センターだが、体験的な利用を通じて受け入れ施設にも事前に情報を提供し共有していく。</li> <li>・宿泊先は、市外の施設利用も考えてはどうか。地域生活支援拠点等への参加手続の簡素化や加算でより多くの施設に手上げしてもらってはどうか。</li> </ul> <p>（３）専門的人材確保・養成のための研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供できる事業所が少ないあるいは利用者の要望が多い行動援護従事者養成研修等を開催。医療的ケア児等に関しては、支援に関して協議できる場がないので勉強会・講演会等を話し合いの場として活かす。</li> </ul> <p>●拠点などの整備に係るスケジュール案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月に、地域生活支援拠点等の内容及び参加事業所の周知することを加える</li> </ul> <p>●整備にあたっての留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体がどこになるのか明文化する。また検討は節目で行い、協議会で検討しては。</li> </ul> <p><b>【課題解決に向けて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の意見を受けて、自立生活支援課で検討し新たな案を提出。</li> <li>・令和 2 年度の本事業予算額が決まってから、事業規模等を再度検討。</li> </ul> <p><b>【次回の協議内容予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 月 21 日全大会にて、自立生活支援課から経過及び内容案の説明を行う。</li> </ul> |                          |
| <p><b>【次回の開催日程】</b><br/> 2 月 21 日（金）全体会 6 時 30 分～8 時 30 分まで</p>   |                          |